

## 全国知事会議の概要

日時：平成19年5月18日(金) 14:40～18:40

場所：都道府県会館3階・特別会議室

概要

### 1 役員の選任について

麻生福岡県知事が会長に再選。嘉田知事が監事に選任。

### 2 第二期地方分権改革の取組について

政府の「地方分権改革推進委員会」が4月に発足したが、地方側から二期改革をリードしていく必要があり、全国知事会地方分権特別委員会では、各地方行政分野の事務事業について、「国と地方の役割分担の一層の明確化と権限の移譲」、「国の義務付け・関与等の廃止・縮小」、「国と地方の二重行政の解消と国の地方支分部局の整理」などの視点で調査を実施。

調査に当たっては、各都道府県を「福祉」、「環境」、「産業」、「まちづくり」、「教育」、「災害その他」のプロジェクトチームに分けて検討。滋賀県は環境分野に割り当てられている。

当日は検討状況について各プロジェクトチームの長から概要報告があり、7月の全国知事会議に向けて検討を深めることとなった。

### 3 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2007」(骨太の方針)に盛り込むべき事項について (別添資料1)

骨太の方針が6月中旬にまとめられることから、知事会として早急に意見する必要がある、その内容について議論。

問題となったのは、地域間格差や地方税の偏在是正の問題に対して、大都市圏の知事を中心に具体的な是正策を示すことへの懸念などから税源の充実を前面に出すべきといった提案があったほか、「ふるさと納税」についても様々な意見が出された。

調整の結果、中立的な表現で取りまとめられた。

### 4 地方分権改革推進委員会が取りまとめる「基本的考え方」に盛り込むべき事項について

5月末に地方分権改革推進委員会において、「基本的考え方」がまとめられ、今後の地方分権改革の方向が示されることから、3と同様、知事会として意見する必要がある、議論の結果、この内容についても3と同様の表現に調整された。

### 5 地方税源の確保、充実と税収格差の是正について (別添資料2)

第二期改革では国と地方の税源配分を1:1にすることを目指しているが、現行制度のままでは、都市と地方の税源偏在度が拡大することから、地方税制小委員会でその是正策等について検討され、現時点での案が示された。この案についても、大都市圏の知事を中心に具体的な是正策を示すことに懸念が示されたことから、継続検討となった。

